

オーブンカレッジ通信

第4号

令和3年
1月発行

さんだ生涯学習
カレッジ事務局



市HP掲載中!

知るほどおもしろい歴史小説の魅力

コロナ禍でうち時間が増え、読書を楽しんでいる方も多いと思います。様々なジャンルがありますが、皆さんはどのような本を選び、読んでいますか。

十二月は関西学院大学文学部の森田教授をお招きし、様々なジャンルの中から歴史小説・時代小説を取り上げ、「世界における歴史小説の魅力を語る」というタイトルで、それらの小説の楽しみ方について教えていただきました。

世界と日本の「歴史小説」

世界的には十九世紀頃から「歴史小説」が存在しており、欧州や中国では強者が歴史を作り、記録に残されてきました。

その一方で、日本の「歴史小説」は、敗者側が取り上げられ、物語の中で描かれることが多いという特徴があります。

あくまでも小説であるため、物語の中で書かれた歴史が真実なのかという視点もあります。

「歴史小説」と「時代小説」

似たような認識をもっておられる方も多い「歴史小説」と「時代小説」ですが、文学上では明確に区別されています。

「歴史小説」は、歴史上の事件や人物、風俗等の史実に即しながら歴史の本質が描写されています。時代背景とともに、人物像が変遷していく面白さが魅力です。幕末までの時代設定のもの

が多く、代表的な作家としては、司馬遼太郎、吉川英治、山本周五郎らがいます。

一方、「時代小説」は、作者が自分で主人公を設定し、ストーリーも自由に考えられ、ロマンスクに筋が展開されます。時代設定以外はあまり制限がなく、自由度が高いというのが特徴です。代表的な作家としては、池波正太郎、藤沢周平らがいます。様々な歴史小説や時代小説が大河ドラマ、時代劇となり、多くの人々に親しまれています。

「司馬史観」で展開される数々の歴史小説 作品紹介

数多くの人気作家の中から、今回は歴史小説作家「司馬遼

太郎」の作品を取り上げます。

司馬遼太郎の歴史小説は、「司馬史観」と呼ばれる彼ならではの新たな解釈で自在かつ闊達に人物が描かれており、数々の人気作品を生み出しました。

●『燃えよ剣』：名悪役だった土方歳三を主人公に取り上げ、幕末最強の武装集団「新選組」を作り上げた生涯を描く。

●『坂の上の雲』：日露戦争を舞台に秋山好古と秋山真之、正岡子規を取り上げ、彼らが学生時代から、どのように明治の時代を生き、日露戦争でロシアを破るに至ったかが描かれている。

●『竜馬がゆく』、『臍(ふくろ)の城』、『国盗り物語』、『ペルシャの幻術師』、『街道をゆく』

この他にも、様々な作家の作品を紹介していただきました。ぜひ気になる小説を手に取り、魅力に触れてみてください!

●池波正太郎『鬼平犯科帳』

●藤沢周平『蝉しぐれ』

●佐伯泰英『居眠り警音』

●高田郁『みをつくし料理帖』

参加者の声

■今まで時代小説しか読んでいなかったですが、歴史小説にもチャレンジしたいです。

■歴史小説と時代小説の違いがわかり、講義を踏まえて読むと違った見え方ができるかもしれないと思いました。

■戦国時代だけでなく、近代や中国の歴史小説にも触れていきたいと思っています。

■TVやDVDで歴史ドラマを気軽に見たいですが、改めて「本」で言葉をかみしめて読み直したいと思いました。

最後に・・・

コロナ禍の中、毎日の生活の潤いに読書の時間を持つことはおすすめです。興味ある本やお気に入りの本を開き、物語の中心で知らない世界や会ったことのない人物と巡り合っていくことは楽しい時間です。今回学んだことを踏まえ、昔読んだ本を再び手に取り、読み返してみるとまた違う魅力に触れ、楽しむことができるかもしれませんよ。